慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	神社と史蹟(西宮市武庫郡神職會編發行)
Sub Title	
Author	武田, 勝藏(Takeda, Katsuzo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1932
Jtitle	史学 Vol.11, No.2 (1932. 7) ,p.181(327)- 181(327)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19320700-0181

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

[illegible]を繙いた時、この、著者に對する甚だ失敬な豫想は全く的外れであつた。著者の立論には何者の偏見もない、何等の誇張も獨斷もなければ又矛盾も存しない。在りのまゝの事實を在りのまゝに述べて、然かも著者が簡明せんとする要點の中心を衝いてゐる。序文に見ゆるが如き著者の遜辭は無用であらう。德川時代の經濟史に關する貴重な一文獻として推頌する次第である。（有賀春雄）

神社と史蹟（西宮市武庫郡神職會編發行）

西宮市武庫郡神職會に於ては、神明奉仕の傍、愛鄕の觀念の普及として、年來同地方鄕土資料の調査と、これが蒐集保存に盡力せられ、既に史料展覽會を催し、又史料目錄を上梓し、今次、更に本書の上梓を見るに至りしは、寔に欣幸に堪えぬ。

本書は西宮市・武庫郡內の神社と史蹟に就いて市町村別に、其の梗概を錄し、又顯著なる名勝天然記念物をも併載し、加ふるに傳說地も採錄せられて居る。猶ほ史蹟は努めて其の由來を闡明にし、更に參考書目をも附記して居る。

輓近、文明の顯著な進展に連れて、四時の名勝、祖先の史蹟は、鐵路の開通により、又都市の膨脹により、或は破壞され、或は全滅されつつある。これ又止むを得ざることなるも、實に追懷感慨無量なるものがある。かゝる秋に神職會に於て鄕土史料として、祖先の崇敬厚かりし神社、又子孫に幾多の示教を殘す史蹟を錄せられしは、既述の如く愛鄕精神の涵養には勿論なるも、引ひては益愛國精神の誘導となり、更に我が國體擁護の振起ともなることは云ふ迄もない。

方今、國家の內外共に多事なるに際し、かゝる有益の書の上梓を見るは、時宜を得たるものと滿腔の敬意を表するものである。（昭和七、三、十五、武田勝藏）

The End of Reparation; The Economic Consequence of The World War. By Hjalmar Schacht. Ed. by. George Glasgow. 1931. London & NeW York.

「ヴェルサイユ媾和條約は條約ではない、それは平和を齎らさなかつた。條約の本義は雙方が夫々の立場を述べた後、相互の協定に到達することである。ヴェルサイユ條約は一方のみによつてされた」。著者は本書の冒頭に於てかく記してゐる。これは恐らく獨逸人全體の意見を代表したものであらう。而してこれは今日多くの獨逸人を驅つて右翼政黨に轉向せしめつゝある主要なる動機と考へられる。

第一章に於てヴェルサイユ條約の責任を論じ、第二第三章に於て如何なる方法によつて獨逸が賠償金を支拂ひ來つたか、又如何に賠償金の支拂が獨逸を苦しめつゝあるかを述べ、第四章以下に於てドーズ案よりヤング案に至るまでの經緯を說明してゐる。

著者は前獨逸國立銀行總裁として或は財政專門家會議の代表として賠償問題の實際に參與し、一九二三年より一九二九年に至るまで獨逸の財政的危機を打開することに努めた人である。それ故、彼の說に多少正鵠を缺く點のあることは止むを得ないとして、兎に角本書は過去十年間に於ける獨逸の經濟狀態の推移を知る上に甚だ貴重なるものといふことが出來る。（恒松安夫）